

# The Record

2009-05 Vol.594



特集

## 文化資産を守る ～アーカイブ事業の意義と役割～



社団法人 日本レコード協会



## Contents

Monthly News Digest .....	1
特集	
文化資産を守る ～アーカイブ事業の意義と役割～ .....	3
特報	
RIAJセミナー「新入社員研修」開催 .....	8
平成21年度事業計画 .....	9
公正取引委員会へ再販弾力運用報告書を提出 .....	11
Monthly Production Report .....	12
GOLD DISC .....	13
Message & Opinion .....	14

## 3/24

### 「着うた®」「着うたフル®」の 違法配信に関する利用意識調査 の結果について

(社)日本音楽著作権協会、(社)日本芸能実演家団体協議会・実演家著作隣接権センターおよび当協会は、携帯電話事業者である(株)NTTドコモ、KDDI(株)、ソフトバンクモバイル(株)等の協力により、深刻化する違法な携帯電話向け音楽配信への今後の対策の検討のため、携帯電話ユーザーを対象とした違法音楽配信の利用意識調査を2008年9月24日～10月23日に実施し、2009年3月24日に公表した。

調査の経緯、結果についての概要は、当協会ホームページに掲載中。  
URL:<http://www.riaj.or.jp/>

協会および当協会は、ファイル共有ソフトの利用について、学生に対する適切な指導を求める要請文と注意喚起のリーフレットを、全国の大学と高等専門学校810校に送付した。

これは、毎年実施している「ファイル共有ソフト利用実態調査」の最新の結果において、ファイル共有ソフトの「現在利用者」が「インターネット利用者」の10.3%と1割を超えたことを重く受け止め、対策の一環として行われているものである。

なお、リーフレットの送付後は、ネットワークを巡回し、流通する情報を自動収集・分析する「P2Pファインダー」を使った調査を行い、ファイル共有ソフトへのアクセスが確認された大学・高等専門学校に対しては、注意喚起や具体的な対策を求めることも予定している。

## 3/27

### 理事会・総会開催

3月27日、東京都渋谷区のアイビーホール青学会館において、当協会は第418回通常理事会および第126回通常総会を開催し、平成21年度事業計画案および収支予算案が承認された。

事業計画の詳細については、本誌9ページから10ページ「平成21年度事業計画」を参照。

## 4/17

### 全国の大学・高等専門学校に ファイル共有ソフトに関する 要請文を送付

4月17日、(社)コンピュータソフトウェア著作権協会、日本国際映画著作権



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す(社)日本レコード協会の登録商標です

## 慶應義塾大学・立教大学で寄付講座を開講

当協会は、昨年度同様、慶應義塾大学、立教大学の2大学で「2009年度 社団法人日本レコード協会寄付講座」を開講する。

寄付講座は、次代を担う学生のコンテンツビジネスに対する理解を深め、併せて知的財産を尊重する意識を高めることを目的とするもので、当協会は、1992年より併せて四大学に講座の寄付を実施している。

以下は慶應義塾大学の春学期シラバス。両大学の9月以降のシラバスは9月号に掲載予定である。

### ■ 09年度 慶應義塾大学寄付講座シラバス

#### 「クリエイティブ産業研究」

三田キャンパス：木曜4時限（14:45-16:15）

#### 4/ 9 クリエイティブ産業とその範囲(オリエンテーション)

慶應義塾大学文学部 教授 美山良夫

#### 4/16 コンテンツ・ビジネスとその歴史

慶應義塾大学文学部 教授 美山良夫

#### 4/30 クリエイティブ・エコノミーの台頭

慶應義塾大学 准教授 金正勲

#### 5/ 7 クリエイティブ産業と法律(訴訟を避けるために)

染井・前田・中川法律事務所 弁護士 前田哲男

#### 5/14 日本の知財戦略(コンテンツの振興)

内閣官房知的財産戦略推進事務局 参事官補佐 一山直子

#### 5/21 海外のクリエイティブ産業戦略

慶應義塾大学 准教授 金正勲

#### 5/28 著作権の概要

文化庁長官官房著作権課 著作物流通推進室長 川瀬 真

#### 6/ 4 私たちと著作権

文化庁長官官房著作権課 著作物流通推進室長 川瀬 真

#### 6/11 日本のポップカルチャー

(株)手塚プロダクション 代表取締役 松谷孝征

#### 6/18 アメリカのクリエイティブ産業(映画)

ウォルトディズニースタジオホームエンターテイメント 日本代表 塚越隆行

#### 6/25 日本のデザインカ(プロダクトデザイン)

大阪大学 デザイナー 川崎和男

#### 7/ 2 総括

慶應義塾大学文学部 教授 美山良夫

#### 7/ 9 音楽業界の世界的な潮流

(株)フジパシフィック音楽出版 代表取締役会長 朝妻一郎

## ●●● 会員社のお知らせ ●●●

### ■ 入会 (5月1日付)

社名：株式会社テレビ朝日ミュージック  
(賛助会員)

代表：代表取締役社長 吉田 正夫

住所：〒106-8552

東京都港区六本木6-2-31

六本木ヒルズノースタワー12階

TEL: 03-3796-7100

FAX: 03-5411-0638

社名：NPP DEVELOP株式会社(賛助会員)

代表：代表取締役社長 猪股 光太郎

住所：〒150-0012

東京都渋谷区広尾2-2-16

FLEG広尾2nd.AVE101

TEL: 03-5778-1820

FAX: 03-5778-1821

## 日本のレコード産業英語版 「RIAJ Yearbook 2009」を発行

当協会では、「日本のレコード産業2009」の英語版である「RIAJ Yearbook 2009」を発行した。本誌は、2008年のレコード産業の概要を網羅したA4判28頁の小冊子で、日本語版と同様の内容である。レコードの生産実績、有料音楽配信売上、新譜・カタログ数、ミリオンセラー、世界売上等を幅広く掲載している。なお、本誌のPDF版については、当協会ホームページ(<http://www.riaj.or.jp/>)に掲載。



## 2009年4月会議メモ

4/ 1 マーケティング委員会

4/ 7 法制委員会

4/ 8 広報委員会

4/10 情報・技術委員会

レコード倫理審査会

4/15 海外市場拡大委員会

4/17 執行委員会

4/24 理事会・臨時総会

4/27 二次使用料委員会

# 文化資産を守る ～アーカイブ事業の意義と役割～



【対談者】 国立国会図書館 長尾真館長(左)  
社団法人日本レコード協会 石坂敬一会長

日本放送協会、(社)日本音楽著作権協会、(社)日本芸能実演家団体協議会、(財)日本伝統文化振興財団、NPO法人映像産業振興機構および当協会の6団体は、歴史的音盤アーカイブ推進協議会(HIRAC)を2007年に設立し、歴史的な価値の高い100年以上前からの貴重な音源をデジタル化し保存する事業を推進してきた。また国立国会図書館では2009年より4年間にわたり、HIRAC提供のデジタル音源の受け入れ、保存・運用事業を実施することとなり、本年4月から受け入れに向けた取り組みを開始している。

新たな連携の枠組みのスタートにあたり、当協会の石坂敬一会長が、国会図書館に長尾真館長を訪れ、対談を行った。今回の特集では、歴史的音盤アーカイブ事業の意義や相互の役割、これからの方針や期待される広がりなど多角的に語られた内容を紹介する。

## 歴史的に貴重な音源をデジタル化し、国会図書館で保存する体制の構築



聞き手  
音楽評論家 反畑誠一氏

昨年、国会図書館が創立されて60周年を迎えました。記念すべき年に、歴史的なアーカイブ音源の納入と一般公開へ向けた事業を本格的にスタートされます。はじめに長尾館長に、納本制度を踏まえて、新たな音盤アーカイブ事業への取り組みをお聞かせいただきたいと思います。

**長尾** 60周年を機に、納本制度で100%納本まで至っていないこともあり、その強化を図ってきました。納本制度の日を5月25日と定めて講演会やイベントを行い、例えば自費出版者にも積極的に納めてもらえるよう全国に制度の告知を展開しています。こういう取り組みを背景に、書籍などはかなり納本率も上がってきているのですが、音楽や音盤関係はやや手薄であり、これを何とかしたい、という思いがまずありました。一方でデジタル図書館的な事業にも力を入れたいと考えていました。本のデジタル化、インターネット上の情報利用といった取り組みです。その過程で音楽のデジタル化も視野に入れていたのですが、これまで着手できませんでした。日本レコード協会をはじめとするアーカイブ事業に携わるコンソーシアムを作っただけ、私たちのアーカイブ事業参画にも道が開けました。本年4月から本格的に取り組んでいこうとしています。

**石坂** 国会図書館で今年からアーカイブ事業への取り組みを開始され、2009年からの4年間に予算総額1億4千万円の大きな力を供与していただけることになりました。貴重なアーカイブ音源の保存と活用に向けて、実に大きな前進です。これもひとえに国会図書館の長尾館長ならびに職員の皆さまのご努力の賜物であり、レコード産業、音楽産業に携わる者として心よりの御礼と感謝を申し上げます。

レコード産業も来年、日本初のレコード会社ができて100年になる記念の年をひかえています。国会図書館、レコード産業ともに相次いで節目の年を迎えるこのときに、奇しくも音盤アーカイブ事業の発展が図られることとなりましたね。

**石坂** 日本の音楽産業は1998年に売上規模でピークを迎えました。以降、パッケージにおいては減衰していますが、その間に、携帯音楽を中心にデジタル音楽市場が勃興し、新たな成長市場として頭角を現し、2005年以降は、パッケージと配信を合わせ、ほぼ前年並をキープしています。ところがパッケージ隆盛時代には世界で最も海賊版の少なく、道義的にも立派だなど思うところのあった日本までも、デジ

タル音楽では違法配信からのダウンロードがまかり通り、深刻な問題になっています。ただ、そういう状況もある中で、業界は需要の喚起に努め、中高年層には高品質なCDを中心としたパッケージビジネスをアピールし、若い年代を中心にデジタル音楽を楽しむという両輪が機能する現象も出てきました。

こうして日本は世界第2の音楽産業国という地位を保っていますが、音楽文化の保存に目を転じると、決して一流を誇れないのが現状でした。それが、このたびの国会図書館のご助力もあって、1907年から1963年までの範囲の貴重なアーカイブ音源5万点をデジタル化して保存・活用するとば口に立ったのです。この中には貴重な政治家の歴史的スピーチや壮士演歌の源流といわれる添田唾蟬坊の声など、文献には出てくるけれど、誰も聞いたことのない本当に貴重な音源がたくさん入っています。また北海道の江差追分のできたいわれを解明できる可能性があるなど、文化史的な重みのある音源もカバーされています。本当に快挙であり、幅広い研究者から喜ばれ、海外のジャーナリストからも問い合わせがくるほどです。そういう観点からも、音盤アーカイブ事業の実現は、レコード業界の念願でした。

**長尾** 図書館の立場から文化を考えると、本だけを対象にするのは不十分です。国会図書館法では書物以外に、音源や映



■長尾 真(ながおまこと)

1936年三重県生まれ 博士(工学)  
専門は、自然言語処理、画像処理、パターン認識、電子図書館。  
59年京都大学工学部電子工学科卒業、61年同大学院修士課程修了、66年京都大学より工学博士号取得、73年京都大学教授就任、97年京都大学総長(第23代)就任、97年紫綬褒章受章、2004年独立行政法人情報通信研究機構理事長就任、07年国立国会図書館長就任、08年文化功労者に選ばれる



像の収集も定めています。映画フィルムはいろいろな困難があって、当面の収集を見合わせていますが、音楽や演説の収集は本当に大事です。図書館がデジタル化する時代

を迎えたこのチャンスに、私たちの持つ音源もデジタル化しなければならない。記憶装置の改新をその都度行う必要はありますが、書籍も含めてデジタル化は活用にも便利で、これから必要不可欠な事業です。その際、音源に関して言うと古いレコード盤は会社によって再生速度が違うなど、音楽関係は技術的に専門的で難しい部分がありました。HiRACの仕組みを通せば、その点でも的確な解決を得られると期待していますので、私たちこそ逆に、レコード協会を含めた協議会の取り組みには感謝しているのです。

**石坂** 確かに古いレコーディングの規格は統一されていなかったもので、音の周波数や個性が違うのは事実です。しかしレコード協会側には技術に明るい者もいますし、ぜひ国会図書館の担当の方とも力を合わせながら、規格化していくことは可能だと思いますよ。

## 戦前からの貴重な音源を多様なチャネルから収集

戦前のもなどかなり古い盤もありますが、レコードの保存は今日までどう行われてきましたか。

**石坂** これら貴重な文化遺産は、民間のレコード会社の他、好事家、収集家、研究者およびNHKが保持してきました。レコード会社では、日本最古のレコード会社ニッタクを原点とするコロムビアミュージックエンタテインメントに加え、ビクターエンタテインメント、キングレコード、テイチクエンタテインメント、このあたりと1963年まで見ていくと一部EMIミュージック・ジャパンも入ってきます。それぞれよく保存していただいています。金属原盤は損傷したものも多く、修復しながらのデジタル化はかなり難しい技術です。しかしいずれも内容が素晴らしいですから、是非がんばっていただきたいと思っています。アーカイブは、戦前の貴重なSP盤やその金属原盤が主体となります。

**長尾** それで5万点にもなりますと、過去に出されたレコードの100%近くがカバーされるのでしょうか。

**石坂** 藤山一郎の歌唱、松井須磨子の「カチューシャの歌」などの他、藤原義江歌劇団の初期のような大衆芸能に近いものも入っています。東条英機のスピーチ、広沢虎造の浪花節といった、本で読んだことしかないものもカバーされています。ですからかなりいいとは思いますが、評論家の中村とうようさんに伺ったところ、この倍はラインアップする必要があるそうです。

**長尾** 世の中のあちこちにまだ死蔵されている可能性はありますね。

**石坂** 相当あると思います。音盤アーカイブ事業の情報を広めて呼びかければ、応じてくださる収集家はいらっしゃるでしょう。

**長尾** 実は私の京都の知人も、京都近辺で出されたレコードを一生懸命集めておられるんですよ。このような個人の収集家のご協力も今後必要となってくるかもしれませんね。

## 国会図書館とレコード協会がそれぞれの立場で役割を分担

音盤アーカイブ事業がスタートして、相互の役割はどのようになりますか。

**石坂** 比較文化研究に携わる学者、評論家、ジャーナリストに日本の音楽産業文化の深さを伝え、橋渡しをするのが当協会の役割ですね。日本は、世界最初のエジソンの円筒型、ベルリナーの円盤型の各蓄音機が世に出た際に、ほとん

ど間を置かず明治天皇の手に同機種が渡ったほど、音楽技術の最先端を走っていました。それ以来日本の音楽産業の歴史は、豊かに冒険的に発達してきたのです。大変貴重な音源が出ているわけですから、それにフォーカスして新たな成果を見出す知識人が必要であり、そういう人々を育てる活動の広がりが重要です。

国会図書館側では、多岐にわたる音源をどのように分類して優先的に保持していくかが重要になるのではないのでしょうか。

**長尾** どの音盤からデジタル化を進めるべきか、まだ結論が出ていないのです。議論が深まれば、何かリクエストを出す可能性もあります。将来的には、例えばアメリカの議会図書館のような取り組みが必要かも知れません。これは学校教育などでアメリカの歴史を学ぶときに、デジタル・コンテンツを駆使した教材を作成し、全国の学校現場などに提供していくというものです。歴史的な写真や文書のほか、リンカーンなど著名な政治家の演説をデジタル化して聞かせるといったことをやっています。日本でもそれに類するものを用意した方がいいという意見があります。明治から今日までの日本の歴史の記録をデジタル化する。そうすると写真や書類も大事ですが、政治家の生の演説もそ



ろえておくべきだということになりますね。保存したデータをどう活用するかが、やはり国会図書館の大きな役割だと考えていますから、いずれ踏み込んだ議論が必要です。

## 貴重なアーカイブ音源を活かすのに必要な比較文化研究の活性化

アーカイブされた音源の利用については、著作権に関して心配な部分もありますが、どう対処していけばいいとお考えですか。

**長尾** 国会図書館では、明治・大正期の書物やそれ以前の絵巻物などを中心に、著作権の切れたものについてウェブサイトに掲載して、誰でもダウンロードやコピーを行え、個人のサイトでも利用できるようにしています。ですからレコード音源も、著作権が切れてフリーになったものをそのように使ってもらうのが一番好ましいですね。ただ著作権のあるものは、図書館内のみでの利用にとどめ、著作権者が納得のいく制限範囲を明確にする必要があります。利用に際しての著作権問題はきちんと守られる仕組みを作らないと、いろいろな問題も起きます。国会図書館は国の機関として、法律の範囲内で最大限にご活用いただく道を探っているところです。

**石坂** 文化遺産を保護するという意味においてはとてもいい形でスタートし、多くの方の支援をいただき、レコード産業世界第2位の日本にふさわしい保存ができるようになりました。例えばフランスなら、シャンソンのダミアの声などがきちんと保存されているなど、日本ではうらやましい状況がありました。それが日本でもかたちになった。国が動いて、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツなどの先進諸国と比べてやっと一人前になれたということですね。

ただし活用については人材育成が必要です。法律を遵守していけばいいのですが、かなりの厚みのある知識人でないとこなせきれません。映画や小説、音楽など分野別の文化・歴史に精通された方は多いけれども、比較文化史からアプローチしていただく方にぜひご登場願いたい。例えば、アメリカのノーマン・メイラーはその点でも偉人です。映画から小説、音楽まで涉猟し、業績を残して

### ■ 主要国立図書館の国際比較

名称 [データ採取年度]	国立国会図書館 [2008年度]	米国議会図書館 [2006年度]	英国図書館 [2007年度]	フランス国立図書館 [2006年度]	ロシア国立図書館 [2005年度]	中国国家図書館 [2007年度]
創立 (前身)	1948年 (1872年)	1800年	1973年 (1753年)	1994年 (1720年)	1992年 (1862年)	1912年 (1909年)
職員数	908名	3,783名	1,996名	2,651名	2,273名 (2007年1月現在)	1,330名
WebサイトURL	http://www.ndl.go.jp	http://www.loc.gov	http://www.bl.uk	http://www.bnf.fr	http://www.rsl.ru	http://www.nlc.gov.cn
蔵書数	924万冊(図書のみ) 3,554万点 (総資料点数)	2,053万冊(図書のみ) 1億3,451万点 (総資料点数)	1,371万冊 (図書のみ)	1,300万冊 (図書のみ)	4,330万点 (総資料点数)	2,630万冊
運営主体	国会	連邦議会	文化・メディア・ スポーツ省	文化・ コミュニケーション省	文化省	文化部
年間予算	219.7億円	6億362万ドル	1億4115万ポンド	2億5,400万ユーロ	8億7,230万ルーブル	1億2,000万元 (資料購入費のみ)

出所：国立国会図書館

いる。日本にもいらっしゃるでしょうが、縦割りの傾向が強いですから。5万点のコンテンツを使いこなせる人、そういう能力を育成しなければ…。

**長尾** そういう取り組みはまさに図書館でやりたいことです。一つのレコードにどういふ他の文化遺産が関係しているのか。図書館の膨大な蓄積資料を活用してやれることがあります。

**石坂** 例えば第一次世界大戦後すぐ、ジャズが日本で初めて成立しました。平和になってアメリカ航路に大型の船舶が行き来するようになり、その中でアメリカからジャズバンドが要請されたのです。こうして日本に「見よう見まね」のジャズバンドが登場し、1920年代前半には井田一郎氏や二村定一氏などが実際にレコーディングを始めています。当時ジャズバンドを実践できるアメリカ以外の国はドイツだけでしたが、非西欧圏の日本がそれに続いたのです。日本人の「新しいもの好き」なところと文化摂取力の高さが現れていて興味深いのですが、現在のこの事実はほとんど知られていません。でも、今もし当時の音源があれば、クリエイティブな学者や小説家が新しい視点からのエピソードを設けて臨場感のある講演を行うことができるかもしれない。講演時間は、一般的な1時間では物足りないくらいでしょう。そんな楽しい想像を生むきっかけができたことが嬉しいですね。

**新しい夢が生まれたわけですね。長尾館長はどんな夢を描いておられますか。**

**長尾** このアーカイブ事業が一つの夢ですね。4年といわず、継続的に取り組んでいければと思います。今おっしゃったように、音盤を聞いているだけでは分からない歴史が、本などの総合的な知識と触れる場を通じて、分かってくる可能性がありますから。これは是非やりたいですね。国会図書館では古文書、古典籍については相当数のベテランを養成し、いろんなことがわかり、評価しています。願わくは、レコード・音楽関連でもそういう人材を養成できれば、素晴らしいことですね。時間はかかるかも知れませんが、レコード協会サイドの協力を仰ぎつつ、アーカイブ音源を活用する環境を整え、人材育成を図り、いずれ他の図書館との連携まで進めていきたいと構想しています。



**最後に長尾館長から音楽産業界やそこで活動する人たちへ、また石坂会長から国会図書館の皆さまへ、メッセージをお願いします。**

**長尾** 私自身音楽は大好きです。これから21世紀は科学技術などの知の時代というよりは情の時代になっていくと思いますが、そういう意味からも音楽はますます重要になるでしょう。作曲家や音楽プロデューサー、アーティストなどクリエイティブ・サイドの方々ともいろいろなチャネルを介してコミュニケーションを密にしていきたいと考えています。そして図書館活動の大切さを広く認識していただき、音楽文化をより活性化する呼び水になればと願っています。

**石坂** 本の歴史から比べればレコード産業の歴史はたかだか100年です。人材が少ないのも無理からぬ話で、これからですね。利便性からも、日本の狭い国土からもデジタル化は不可欠な流れで、後は活用する知性や情念が大切ですね。いずれにしても音楽も歴史的価値を見出される時期が来たことは嬉しく思っています。国会図書館の皆さまには、今後情報をたくさん頂戴し、助言をいただくこととなります。こちらでもできる限り情報をお届けして、合作でと申しますと僭越ですが、この最高の機能を十分に活かさせていただきたいと思います。

■ 国立国会図書館とは

国立国会図書館は、国会に属する国の機関であり、国会議員の調査研究、国会の立法行為を補佐することを第一の目的としており、納本制度に基づいて、日本国内で出版されている全ての出版物を収集・保存できる日本唯一の法定納本図書館である。また、日本で唯一の国立図書館としての機能も兼ねており、行政・司法および公衆に対するサービスも行っている。

■ 専門分野： 法定納本図書館

■ 蔵書数： 3,554万点(2008年12月末現在)

■ 事業主体： 国会

■ 開館： 1948年(昭和23年)2月9日発足、同年6月5日開館

# RIAJセミナー「新入社員研修」開催



4月3日、当協会は、東京都渋谷区の東京ウィメンズプラザにおいて、会員社新入社員を対象としたRIAJセミナーを開催した。

研修では、当協会広報部庄司部長より「レコード産業の歴史と近未来」について、高杉理事・事務局長より「レコードに関する著作権の基礎知識」について語られ、参加者は真剣な面持ちで講義に集中した。

引き続き、東京都港区のアーリーズテラスにおいて、懇親会が開催された。当協会石坂会長は冒頭の挨拶で、レコード業界の現状を語ったうえで、新入社員をねぎらい、若い才能に期待を寄せるメッセージを送った。

歓談に続いて行われた各社ごとの挨拶では、個性豊かなスピーチが繰り広げられ、会場は多めに盛り上がりを見せた。最後にコロムビアミュージックエンタテインメント(株)人事総務部奥野部長より挨拶が行われ、盛況の内に、閉会を迎えた。



## アンケート

RIAJセミナー「新入社員合同研修」を終えて、新入社員に志望動機・抱負などについてアンケートを行った。その回答を一部紹介する。

### 1 レコード業界(会社)への志望動機

- > エンタテインメントを扱う会社で、日本中に笑顔があふれるような仕事がしたいです。
- > 夢や勇気を与えることができるのはレコード業界(エンタテインメント)ならではの仕事です。人の心を扱う仕事にすごく魅力を感じます。
- > 海外のアーティストは世界的に有名な方々が多くいるが、日本ではない。日本発の、海外で通用するアーティストを生み出したい。

### 2 今後携わりたい業務とそれに対する抱負

- > 音楽制作。一瞬のヒットを作り出すのではなく、歌い継がれる歌、愛されるアーティストを生み出したい。
- > 自分なりに分析してきた音楽売上のチャートを活かして、マーケティングの業務をしたい。
- > お客様に一番近い距離である営業を志望している。一人でも多くの“音楽ファン”をつくり、音楽業界を盛り上げていきたい。

### 3 本日の研修会の感想

- > レコード業界の歴史、現状そして未来展望を同時に知ることができ、とても勉強になりました。
- > 著作権についての説明では、専門用語が出てきて分からない部分もあったりしたので、これからきちんと勉強していこうと思いました。
- > 著作権の基礎知識がとても勉強になりました。今までは“聴く”側として気にも留めずにいましたが、これから“提供する”側としてしっかり自覚を持っていきたいです。



コロムビアミュージックエンタテインメント(株)



ビクターエンタテインメント(株)



キングレコード(株)



(株) テイチクエンタテインメント



ユニバーサル ミュージック合同会社



(株) ポニーキャニオン



(株) バップ



エイベックス・マーケティング(株)



(株) フォーライフ ミュージックエンタテインメント

# 平成21年度事業計画

平成20年のレコード業界の生産・販売実績は、前年を若干下回る結果となり、業界環境は依然として予断を許さない状況にある。平成21年度は、前年度に引き続き『レコード産業の復活を果たす』のスローガンを掲げ、「違法対策の強化」「需要拡大施策の充実・強化」「指定団体業務の推進」「法制度に対する的確な対応」及び「産業広報の強化」等の重点施策を中心に、以下の事業を推進する。

## ■ 事業活動

### [1] レコードの普及に関すること

#### 1. 音楽CD再販制度の維持

- (1) 再販制度の弾力運用を更に推進するとともに、引き続き再販制度の必要性を訴える。
- (2) ユーザーサービスの一環として実施しているインターネット廃盤セールを前年度同様年1回開催する。
- (3) 経年変化を捉えるため全国レコード店調査を継続実施、ネット通販数の補足も検討する。

#### 2. パッケージと配信の共生

- (1) 4月に授賞式を開催するCDショップ大賞の店頭展開及び広報展開の支援を行い、認知拡大に努めることを通じて店頭の活性化を図る。
- (2) 日本ゴールドディスク大賞を実施し、授賞アーティストのライブパフォーマンス、TV・FM局での放送を行う。また、年に1度の授賞式以外に、TV局・FM局と月次認定の積極的活用や販売連動など、需要拡大に資する施策を実施する。
- (3) 着うたフル(R)weeklyチャートの公表開始にあたり、チャート番組、紙媒体、サイト等でのチャート活用を促進し音楽配信市場の拡大を図る。
- (4) 配信に係るメタデータ提供、報告実務等の効率化の観点から、ID標準化の問題も含めた総合的な解決策として、EDIによる配信商品に関する総合情報処理基盤の構築について検討する。

#### 3. 日本音楽の海外展開

- (1) 海外におけるライセンス促進に向け、PROMIC主催の東京アジアミュージックマーケット(TAM)に積極的に参画するとともに、TIFFCOM(映像関係の商談会)との連携を強化し、ビジネスチャンスの拡大を目指す。また、経産省、外務省に協力を要請し、在外公館の活用を図る等、TAM以外の活動によるライセンス促進施策を推進する。
- (2) 海外向けポータルサイト「日本音楽娯楽快線」において、アーティスト情報のデータベースを活用し、情報内容を充実させる。また、放送事業者との番組タイアップの促進を図る。
- (3) 中国におけるネット上の違法対策として、コンテンツ海外流通促進機構(CODA)が認証機関として認められるまで当協会が先行して警告書送付・削除要請等を実施し、悪質者への対応等のシステムを構築する。

#### 4. 各種セミナーの開催

- (1) RIAJセミナー  
会員社を対象に原則として毎月1回開催するとともに、一部テーマについては広く一般にも公開する。
- (2) 大学寄付講座  
今年度は慶応義塾大学、立教大学で開講する。両校とも年に1~2回を公開講座とし学生以外の受講も可能とするとともに、議事録のweb公開を活用し、一般への認知拡大を図る。

#### 5. その他

- (1) “Music J-CIS”(Music Japan-Copyright Information Service)の構成団体として、音楽権利情報データベースを充実させユーザー

サービスの拡大を図る。

### [2] レコードに関する調査研究および資料の蒐集に関すること

#### 1. 市場調査、産業統計の充実

パッケージ商品及び音楽配信に関する各種産業統計データの的確な集計・分析を行い迅速に公表する。

#### 2. 音楽に関する消費者実態調査の実施

24年目を迎える定例の音楽ユーザー実態調査は、かねてより要望の高い「全国のユーザー動向把握」のためweb調査へ切り替えて実施する。

### [3] 録音による芸術文化の保存に関すること

#### 1. 歴史的音源のアーカイブ事業の推進

平成22年度に予定される国立国会図書館のデジタルアーカイブ公開に向け、歴史的音盤アーカイブ推進協議会(HIRAC)を中心にSP盤等の音源デジタル化作業を進める。国立国会図書館を通じて国庫からの支援を受け、平成21年度から4年計画で同図書館への納品を進める。

#### 2. 文化庁芸術祭への協力

レコード部門における事務担当として、選考申請及び審査に協力する。

#### 3. 日本プロ音楽録音賞の共催

録音エンジニアの技術向上と地位確立を目指し実施する。

### [4] 著作権・著作隣接権等に関すること

#### 1. 違法対策に向けた法改正

- (1) 違法配信からの私的録音録画について著作権法30条1項から除外する法改正の実現を図る。
- (2) ISPの責任強化(侵害防止措置の義務化等)と発信者情報開示請求手続きの簡素化を図るため、プロバイダ責任制限法改正の働きかけを行う。

#### 2. 携帯電話向け違法音楽配信への対策強化

- (1) 違法配信サイトの運営者やアップローダーの告訴及び損害賠償請求などの法的対応を強化、促進するとともに、携帯電話向け掲示板事業者に対する効果的対策を検討する。
- (2) 違法サイトに対するフィルタリングの強化及び検索結果非表示の拡大について関係事業者と協議を進め、早期に実現する。
- (3) 違法サイトの探索について、範囲を拡大することにより削除要件件数の引き上げを目指す。
- (4) 違法音楽配信を根絶するための技術的対策について、政府の支援を得て実施に向けた具体的検討に着手する。

#### 3. 違法ファイル交換対策

- (1) Winny等のファイル交換ソフトを利用した権利侵害の実態把握を行い、「ファイル交換ソフトを悪用した著作権侵害対策協議会」で検討中のスキームによるISPを通じた違法ユーザーへの注意喚起、警告等の活動を積極的に行う。

- (2) 発信者情報が開示された者に対し損害賠償請求等を行うほか、特に悪質者に対しては刑事事件化を進める。

#### 4. エルマークの導入促進及び認知度のアップ

- (1) 映像関係団体等と連携し、映像配信サイト(ダウンロード・ストリーミングサービス)へのエルマーク導入を促進するとともに、音楽配信サイトについても、従来のダウンロードサービスに加えてストリーミングサービスまで対象を拡大する。また、エルマークの対象拡大に伴い、ユーザーの認知度を更に高め、違法配信の利用根絶と適法配信からの購入促進を図る。

#### 5. 法制度に対する対応

- (1) レコード演奏権立法化のための具体的活動の開始  
今年度実施した市場規模調査の結果を踏まえ具体的な徴収体制の検討を開始するとともに、行政等への働きかけを促進する。
- (2) 私的録音録画補償金問題の抜本的解決  
私的録音録画補償金制度の抜本的見直しを早期に実現するための活動を、他の音楽権利者団体とともに精力的に継続する。
- (3) 「ネット法」「日本版フェアユース規定」の検討への対応  
レコード製作者のビジネスの障害にならないよう、「ネット法」や包括的な権利制限規定(「日本版フェアユース規定」)の創設に関する政府レベル等の検討に、タイムリーかつ的確に対応する。
- (4) レコード保護期間の延長  
70年以上への保護期間延長に向け、論拠の整理と対外的な働きかけを継続する。

#### [5] レコードに関する出版物の刊行等

レコード産業の理解促進と産業全体のイメージ向上を図るため、機関誌、ホームページ、プレスリリース等を活用して積極的に情報発信するとともに、社会貢献活動や文化活動についても広く広報を行う。

#### [6] レコード製作者に係る商業用レコードの二次使用料に関する権利行使の受任、総額の取り決めならびに徴収及び分配

##### 1. 二次使用料収入の拡大

- (1) NHK及び民放連との間で平成21年度以降の使用料協議を精力的に行い、早期妥結を目指す。
- (2) 有線ラジオ放送について平成21年度以降の使用料協議を行い、レコード使用実態に応じた使用料額の獲得を目指す。

##### 2. 二次使用料の適正な分配

- (1) 分配基準を、原則として「正味出荷実績シェア実績」から「放送実績」へ変更する分配規定の改訂を行う。
- (2) 実績分配システムの開発に着手し、システム構築の目処を立てる。また、ISRCの誤付番を「0」にするよう運用を改善する。

##### 3. 送信可能化権管理事業の整備

4月からオンデマンドストリーミングサービスでのレコード実演に係る実演家の送信可能化権管理を開始し、レコードを使用した放送番組のインターネットでの利用を促進する。円滑な管理体制を確立することにより、コンテンツの流通促進に寄与する。

#### [7] レコード製作者に係る商業用レコードの公衆への貸与に係る報酬等に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収及び分配

1. 平成22年4月からのレンタル使用料メーカー分配実施に向けて、関連団体との協議を継続し、決定された分配ルールに基づきシステム改変または新規構築を行う。

#### 2. レンタルの基本的問題について、検討項目を確認し整理する。

#### [8] 私的録音録画補償金に関する権利行使団体の構成員としての業務ならびにレコード製作者に係る当該補償金の分配

社団法人私的録音補償金管理協会(sarah)及び社団法人私的録画補償金管理協会(SARVH)の構成団体として、私的録音録画補償金制度の円滑な運用を推進する。

#### [9] その他

##### 1. 公益法人制度改革への対応

3月の理事会・総会の決定に基づき、新しい法人形態への移行に向けた具体的な準備を進める。

##### 2. 政府の審議会等への委員派遣および経済団体への参画等

##### 3. 国内・国外の団体、機関との連携活動

国内の音楽関係団体ならびに国際レコード産業連盟(IFPI)およびアメリカレコード協会(RIAA)等海外のレコード産業団体との連携と情報交換を積極的に推進する。

##### 4. レコード倫理審査会の開催

##### 5. 業界規格(RIS)の制定と改正

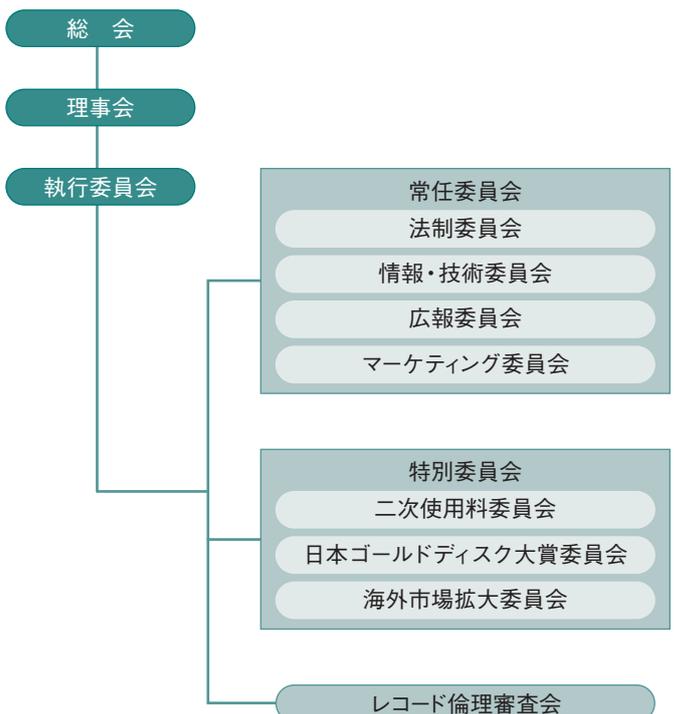
##### 6. "ISRC"(International Standard Recording Code)の管理機関としての活動

##### 7. 福祉・厚生施設へのレコード寄贈

本年度の事業遂行のため、関係諸官庁並びに関係諸団体と常に連絡協調を保持しつつ業務を推進する。

以上

#### ■ 運営体制



## 公正取引委員会へ再販弾力運用報告書を提出

3月10日、当協会は2008年12月31日時点のレコード会社による「音楽用CD等の再販制度の弾力運用の状況について」を取りまとめ、公正取引委員会に提出した。機関誌では報告を抜粋して掲載する。なお、全文は当協会ホームページで公開。  
(<http://www.riaj.or.jp/>)

### 1. 時限再販・部分再販等再販制度の運用の弾力化

#### ① 時限再販期間の短縮について

レコードメーカー各社は1998年以降時限再販期間の短縮に取り組み、現在再販期間は1年または6ヶ月となっている。出荷数量シェアで見た場合、時限再販期間6ヶ月の商品は、邦楽シングル、洋楽シングル・アルバムで90%以上、また邦楽アルバムについては83%を占めている。

#### ② 時限再販期間経過後商品の値引きについて

店頭値引きセールは恒常化している。

#### ③ 非再販商品の発売と値引き販売について

発売タイトル数は年々増え続け、2008年に発売された非再販CD(1,992タイトル)とCD+DVD商品(1,453タイトル)の合計3,445タイトルが非再販で発売され、全CD新譜18,741タイトルの18%(前年17%)を占めている。これら非再販商品は、発売時より値引き販売が実施されている。

#### ④ インターネット廃盤セールの実施

1992年度から毎年実施しており、好評を得ている。

#### <2008年度開催概要>

名称：レコードファン感謝祭2008

～廃盤CDディスカウントセール～

日程：2009年1月23日(金)～2月6日(金)15日間

出品商品：33百タイトル、総数11万枚

いずれも、廃盤は発売時定価の70%引きで販売。

#### ⑤ 価格表示方法の変更について

商品が非再販となっているか否かを認知しやすい方法に変更している。

### 2. 各種割引制度の導入等価格設定の多様化

アルバムの年間平均小売価格は2,135円と昨年2,232円と約100円値下がった。なお、2001年当面存置決定当時の2,399円対比では約11%値下がっている。設定価格の多様化も進んでおり、従来の新人や期間限定、特定ジャンル等の低価格商品発売のほか、2対1セール(2枚購入すれば1枚無料)対象商品の発売、購入者へ500円のキャッシュバック等キャンペーンも行われている。

### 3. 再販制度の利用・態様についての発行者の自主性の確保

従来からメーカー各社が自らの判断で決定しており今後も同様である。

### 4. サービス券の提供等消費者に対する販売促進手段の確保

サービス券・ポイントカードは消費者サービスの一環として定着している。

### 5. 通信販売・直販等流通ルートの多様化及びこれに対応した価格設定の多様化

メーカー各社は、通販・直販等流通ルートの多様化に積極的に取り組んでおり、多様な価格設定が行われている。また、今まで音楽用CDを販売していなかった業態への新規開拓を強化し、クロスマーチャンダイジング等により消費者の満足を高める施策が実施されている。

### 6. 円滑・合理的な流通を図るための取引関係の明確化・透明化その他取引慣行上の弊害の是正

取引関係に関する特段の弊害はない。

### 7. その他

1万円で1万5000円分の音楽ギフトカードが買える音楽ファン感謝キャンペーンや、CD音源の無料試聴サービスを実施している。

レコード業界は、音楽用CD等の再販制度について国民から引き続き理解が得られるよう、今後も消費者利益の向上を目指し、音楽用CD等の企画の多様性の確保、流通の合理化などの改善に積極的に取り組んでまいります。

以上

# Monthly Production Report

## 2009年3月度レコード生産実績

3月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)生産実績は、数量で前年同月比92%の2,637万枚・巻、金額で同90%の339億円となりました。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比92%の2,010万枚・巻、金額で同94%の258億円、音楽ビデオが、数量で前年同月比93%の626万枚・巻、金額で同80%の80億円となっています。

### ● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

		3月実績						2009年1月～2009年3月累計						
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
シ	8cmCD	邦	7	0	53%	3	0	51%	21	0	32%	10	0	32%
		洋	0	0	40%	0	0	46%	3	0	10%	1	0	16%
		計	7	0	53%	3	0	51%	23	0	25%	11	0	31%
ン	12cmCD	邦	3,130	16	86%	2,501	10	90%	11,101	20	86%	8,524	13	88%
		洋	49	0	80%	20	0	79%	66	0	31%	34	0	59%
		計	3,179	16	85%	2,520	10	90%	11,167	20	86%	8,558	13	87%
ル	小計	邦	3,136	16	85%	2,504	10	90%	11,122	20	86%	8,535	13	87%
		洋	49	0	80%	20	0	78%	69	0	29%	34	0	57%
		計	3,186	16	85%	2,523	10	90%	11,191	20	85%	8,569	13	87%
12cmCD アルバム	邦	12,744	63	102%	18,200	70	97%	31,486	57	99%	41,912	65	86%	
	洋	3,816	19	74%	4,778	18	87%	10,757	20	82%	12,807	20	88%	
	計	16,560	82	94%	22,978	89	95%	42,243	77	94%	54,719	85	86%	
CD 合計	邦	15,880	79	98%	20,704	80	96%	42,608	78	95%	50,447	78	86%	
	洋	3,865	19	75%	4,798	19	87%	10,825	20	81%	12,841	20	88%	
	計	19,745	98	92%	25,502	99	94%	53,434	98	92%	63,288	98	86%	
アナログ ディスク	邦	13	0	149%	21	0	156%	22	0	82%	40	0	112%	
	洋	2	0	196%	2	0	164%	5	0	68%	8	0	80%	
	計	15	0	155%	23	0	157%	28	0	79%	48	0	105%	
カセット テープ	邦	317	2	69%	264	1	70%	1,220	2	93%	858	1	81%	
	洋	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	
	計	317	2	69%	264	1	70%	1,220	2	93%	858	1	81%	
その他	邦	12	0	45%	17	0	33%	47	0	69%	60	0	51%	
	洋	15	0	157%	25	0	112%	45	0	166%	104	0	176%	
	計	26	0	74%	42	0	57%	92	0	97%	163	0	93%	
合計	邦	16,222	81	97%	21,005	81	96%	43,898	80	95%	51,404	80	86%	
	洋	3,882	19	75%	4,826	19	87%	10,876	20	82%	12,953	20	88%	
	計	20,104	100	92%	25,831	100	94%	54,774	100	92%	64,358	100	86%	

### ● 音楽ビデオ

		3月実績						2009年1月～2009年3月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	邦	5,853	93	92%	7,357	92	77%	14,903	94	100%	16,837	92	86%
	洋	350	6	108%	490	6	106%	939	6	106%	1,269	7	84%
	計	6,203	99	92%	7,847	98	79%	15,842	99	101%	18,107	99	86%
テープ・LDその他		59	1	381%	173	2	455%	87	1	322%	223	1	276%
合計	邦	5,908	94	92%	7,522	94	79%	14,985	94	101%	17,045	93	86%
	洋	354	6	109%	498	6	107%	944	6	106%	1,284	7	84%
	計	6,262	100	93%	8,020	100	80%	15,929	100	101%	18,329	100	86%

### ● 音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	3月実績						2009年1月～2009年3月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	20,104	76	92%	25,831	76	94%	54,774	77	92%	64,358	78	86%
音楽ビデオ	6,262	24	93%	8,020	24	80%	15,929	23	101%	18,329	22	86%
合計	26,366	100	92%	33,850	100	90%	70,703	100	94%	82,687	100	86%

### ● ビデオ(含音楽ビデオ)

	3月実績						2009年1月～2009年3月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	10,328	98	96%	19,087	96	90%	28,116	98	109%	48,025	96	96%
テープ・LDその他	183	2	618%	711	4	779%	492	2	614%	2,028	4	694%
合計	10,510	100	98%	19,798	100	93%	28,609	100	110%	50,053	100	99%

### ● オーディオ/ビデオ合計

	3月実績						2009年1月～2009年3月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	20,104	66	92%	25,831	57	94%	54,774	66	92%	64,358	56	86%
ビデオ	10,510	34	98%	19,798	43	93%	28,609	34	110%	50,053	44	99%
合計	30,614	100	94%	45,629	100	94%	83,382	100	97%	114,410	100	92%

備考 1. 上記実績は、会員会社「54社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。  
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。  
\*オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

## 音楽ソフト

### 邦楽

#### アルバム

● <b>トリプル・プラチナ</b>			
DO YOU DREAMS COME TRUE ?	DREAMS COME TRUE	2009.03.21	UM
● <b>ダブル・プラチナ</b>			
GAME	Perfume	2008.04.16	TJC
NEXT LEVEL	浜崎あゆみ	2009.03.25	AMI
レミオベスト	レミオロメン	2009.03.09	AMI
● <b>ゴールド</b>			
うたい去りし花	Aqua Timez	2009.03.11	ES
銀魂BEST	銀魂	2009.03.25	SV
J Soul Brothers	J Soul Brothers	2009.02.25	AMI
What's Love?	JUJU	2009.03.04	AI
HOT MENU	スターダスト・レビュー	2006.03.01	TE
告白	チャットモンチー	2009.03.04	KS
The Secret Code	東方神起	2009.03.25	AMI
HYDE	HYDE	2009.03.18	KS
ファンキーモンキーベイビーズ 3	FUNKY MONKEY BABYS	2009.03.04	DRM
BEST&USA	BoA	2009.03.18	AMI
I LOVE UNICORN ~FAN BEST~	ユニコーン	2009.03.18	SE
J-ポッパー伝説 [DJ和 in No.1 J-POP MIX]	ヴァリアス	2008.03.26	AI

#### シングル

● <b>ダブル・プラチナ</b>			
Believe/曇りのち、快晴	嵐/矢野健太 starring Satoshi Ohno	2009.03.04	JA
● <b>プラチナ</b>			
RESCUE	KAT-TUN	2009.03.11	JA
ひまわり	遊助	2009.03.11	SR
● <b>ゴールド</b>			
WILD/Dr.	安室奈美恵	2009.03.18	AMI
刹那	GReeeeN	2009.03.11	UM
It's all Love!	倭田来未×misono	2009.03.31	AMI
Survivor ~090325 4th Album "The Secret Code" Pre-Release Single~	東方神起	2009.03.11	AMI

#### ビデオ

● <b>プラチナ</b>			
ARASHI AROUND ASIA 2008 in TOKYO	嵐	2009.03.25	JA
EXILE LIVE TOUR "EXILE PERFECT LIVE 2008"	EXILE	2009.03.18	AMI

### 洋楽

#### アルバム

● <b>プラチナ</b>			
ディス・イズ・ザ・ワン	Utada	2009.03.14	UM
● <b>ゴールド</b>			
ノー・ライン・オン・ザ・ホライズン	U2	2009.02.25	UM

※日付は発売日

## 有料音楽配信(「着うた®」他)

### 「着うた®」

#### 邦楽

● <b>ミリオン</b>			
愛をとりもどせ!!	クリスタルキング	2004.02.04	PC
● <b>トリプル・プラチナ</b>			
ひまわり	遊助	2009.02.13	SR
● <b>ダブル・プラチナ</b>			
やさしさを溢れるように	JUJU	2009.01.28	AI
My SunShine	ROCK'A'TRENCH	2009.01.13	WJ

#### 洋楽

● <b>ダブル・プラチナ</b>			
WE WILL ROCK YOU	QUEEN	2004.02.18	EMI

### 「着うたフル®」

#### 邦楽

● <b>ミリオン</b>			
Flavor Of Life	宇多田ヒカル	2007.02.28	EMI
● <b>トリプル・プラチナ</b>			
虹	Aqua Timez	2008.05.06	ES
● <b>プラチナ</b>			
気まぐれロマンティック	いきものがかり	2008.11.28	ES
HEART STATION	宇多田ヒカル	2008.02.20	EMI
やさしさを溢れるように	JUJU	2009.02.04	AI
奇跡を望むなら...	JUJU	2006.11.22	AI
Days	浜崎あゆみ	2008.12.03	AMI
ひまわり	遊助	2009.03.14	SR
キミが好きで	Li'l'B	2009.01.21	DF
My SunShine	ROCK'A'TRENCH	2009.02.13	WJ

#### ● **ゴールド**

さくら ~あなたに出会えてよかった~	RSP	2009.02.25	SR
愛	大塚 愛	2008.12.17	AMI
20-CRY-	加藤ミリヤ	2009.01.28	SR
刹那	GReeeeN	2009.03.16	UM
ここでキスして。	椎名林檎	2006.02.01	EMI
Rule	浜崎あゆみ	2009.02.25	AMI
少年ハート	HOME MADE 家族	2005.07.16	KS
最大公約数	RADWIMPS	2006.02.15	EMI
SEVENTH HEAVEN	L'Arc~en~Ciel	2007.05.30	KS
3月9日	レミオロメン	2009.02.14	AMI
Sakura (from 『レミオベスト』)	レミオロメン	2009.02.01	AMI

#### 洋楽

● <b>ゴールド</b>			
チェンジ・ザ・ワールド	エリック・クラプトン	2004.12.01	WJ

### PC配信(シングル)

#### 邦楽

● <b>ダブル・プラチナ</b>			
キセキ	GReeeeN	2008.05.28	UM
● <b>プラチナ</b>			
愛をこめて花束を	Superfly	2008.02.27	WJ
● <b>ゴールド</b>			
扉	GReeeeN	2008.12.03	UM
歩み	GReeeeN	2009.01.28	UM
My SunShine	ROCK'A'TRENCH	2009.02.25	WJ

※日付は配信開始日

## 認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®, 着うたフル®, パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100万毎に賞を設定		

基準単位：音楽ソフト・枚、配信・DL(ダウンロード)  
※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※**AI**:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/**AMI**:エイベックス・マーケティング/**DF**:デフスターレコーズ/**DRM**:ドリーミュージック/**EMI**:EMIミュージック・ジャパン/**ES**:EPICレコードジャパン/**JA**:ジェイ・ストーム/**KS**:キューンレコード/**PC**:ポニーキャニオン/**SE**:エスエムイーレコーズ/**SR**:ソニー・ミュージックレコーズ/**SV**:アニプレックス/**TE**:テイチクエンタテインメント/**TJC**:徳間ジャパンコミュニケーションズ/**UM**:ユニバーサルミュージック/**WJ**:ワーナーミュージック・ジャパン

# CDショップ大賞は パッケージビジネスの救世主となるか？

## Message & Opinion



CDショップ大賞実行委員長  
行 達也  
(mona records 店主)

パッケージ不況の深刻化がいよいよ他人事ではなくてきた現状を踏まえて、いろいろな方の助けを受けながら、現在、CDショップ大賞という初の試みに取り組んでいます。もちろんベースは有名な本屋大賞ですが、本屋とCD屋では、流通のシステムが違えば、業界の体質も違いますので、昨年の春頃からCDショップの店員やNPOの方とさまざまな議論を重ね、よりCDショップにとって効果のある方法を探ってきました。今回、幸いにも個人経営から大型チェーン店まで全国規模で幅広い形態の店舗が参加の表明してくれたことで、スケールメリットという部分でのアドバンテージは取れたので、あとはこの規模をどうやって有機的に活用できるかが命題でした。

組合(この名称も、次世代の配信というメディアに立ち向かうドン・キホーテ的なポジティブな時代遅れ感を含んでいます)の設立当初から懸念されていたのは、これだけの規模になると“本屋大賞と同じ手順を進めると、オリコンチャートとほぼ同じ結果になりかねないのでは?”ということでした。“オリコンチャートと同じ”すなわちこの賞の意義が薄れるので『さすがCDショップの店員は普段からいろいろと聴いてるんだなあ、やっぱりCDを買うならCDショップじゃないと』とユーザーに感じてもらえる賞でなくてはならないというのが統一見解だったので、この部分において喧々諤々ありました。というのも僕自身は目的を達成するためならば手段を選ばないタチなので、『もし理想の投票結果にならなかつたら、票なんて操作すればいいんだよ』なんて暴論を吐いてました(笑)が、組合のみなさんは『いや、趣旨をちゃんと理解してもらって結果は公平正大に行きましょう』というのがほとんどで、最終的に投票が終わってみれば、良いバランスの結果だったので当初の懸念も徒労に終わってよかったのです。

この文章が掲載される頃には発表されていると思いますが、徐々にステータスが上がる賞になればいいと思います。

### 編集後記

今回、国立国会図書館 長尾館長と当協会 石坂会長との対談が実現しました。文化の保存をテーマに語られましたが、豊富な話題は尽きることなく、予定していた1時間半は瞬間に過ぎていきました。国立国会図書館とHiRACの新たな連携により、アーカイブ事業はさらに進展していきます。

(T)

## 協会からのお知らせ

当協会は、2009年4月10日(金)より、携帯電話向け有料音楽配信「着うたフル®」のダウンロード数実績に基づくウィークリーチャートの公表を開始しております。現在このチャートは、当協会のPCオフィシャルサイト(<http://www.riaj.or.jp/>)の他、携帯サイト『Respect Our Music Mobile』(<http://www.rom-m.jp/>)においても、公表しております。



- 名 称 「着うたフル®」有料音楽配信チャート  
(通称:レコ協チャート)
- 公表日 毎週金曜日
- 集計期間 水～火曜日の「着うたフル®」ダウンロード数

 **携帯音楽を守りたい**  
違法な音楽ファイルの利用はやめましょう

<http://www.mamo-on.jp>



**THE RECORD No.594** 2009年5月号  
社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 石坂 敬一  
編集人 生野 秀年  
発行日 2009年5月10日  
発 行 社団法人 日本レコード協会  
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F  
TEL. 03-6406-0510(代) FAX. 03-6406-0520(代)  
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

**Respect**  
our **MUSIC**

